

TDU 東京電機大学

TOKYO DENKI UNIVERSITY

21世紀の科学技術・知性・感性が輝く人類社会を目指して

東京電機大学は「実学尊重」を建学の精神として、「技術は人なり」という教育・研究の理念を礎に、将来の社会動向を見据え、時代に即応した科学技術の発展と人材の育成により一層貢献してまいります。



●東京千住キャンパス●

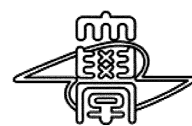
工学研究科 未来科学研究科 先端科学技術研究科
未来科学部 工学部・工学部第二部 総合研究所
〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番
北千住駅東口(電大口)徒歩1分

●埼玉鳩山キャンパス●

理工学研究科 先端科学技術研究科 理工学部
〒350-0394 埼玉県比企郡鳩山町石坂

●千葉ニュータウンキャンパス●

情報環境学研究科 先端科学技術研究科
情報環境学部
〒270-1382 千葉県印西市武西学園台2-1200



東京電機大学
TOKYO DENKI UNIVERSITY

「実学尊重」
「技術は人なり」

産学連携についてのお問い合わせ

研究推進社会連携センター 〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番
東京千住キャンパス TEL 03-5284-5225 FAX 03-5284-5242
Mail crc@jim.dendai.ac.jp HP http://www.dendai.com/
●実施許諾 ●受託・共同研究 ●技術指導 お気軽にお問合せください。

神奈川大学は、優れた研究に基づく発想力・技術力・開発力で、より良い社会づくりに取り組んでいます。

産学、産官学、学学、そして地域との連携・協力を積極的に推進します。



工学部

(横浜キャンパス)

機械工学科
電気電子情報工学科
物質生命化学科
情報システム創成学科
経営工学科
建築学科
総合工学プログラム

理学部

(湘南ひらつかキャンパス)

数理・物理学科
情報科学科
化学科
生物科学科
総合理学プログラム

世界へ、そして未来へ
KU 神奈川大学
http://www.kanagawa-u.ac.jp/

■横浜キャンパス 〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1
TEL 045-481-5661代
■湘南ひらつかキャンパス 〒259-1293 平塚市土屋2946
TEL 0463-59-4111代
産官学連携推進課 sankangaku-web@kanagawa-u.ac.jp

ニーズをシーズで解決する 大学

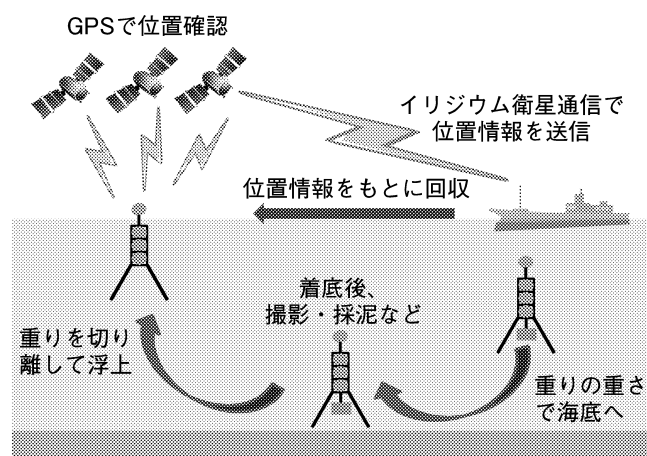


図1 江戸っ子1号の運用イメージ

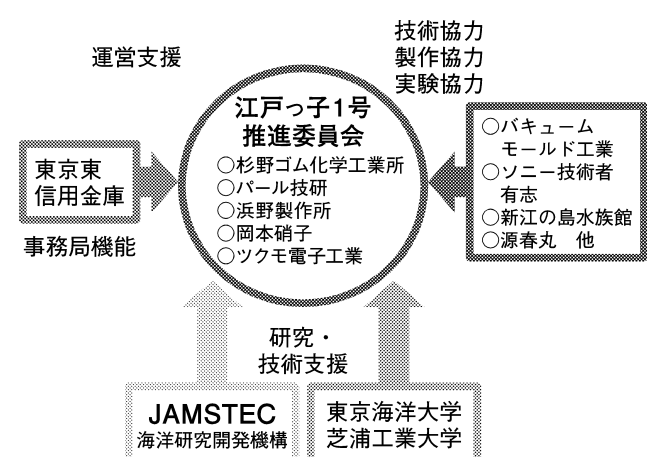


図2 江戸っ子1号推進委員会支援体制

産学連携という言葉が、新聞などのメディアに載らない日はない、というくらいに一般化されてきた。企業の課題(ニーズ)を大学の人的・知的資産(シーズ)を活用し、解決する、もしくは、新しいモノ・コトを創造する、というのが一般的に理解しやすい。この産学連携が多様化し、金融機関が輪に加わるケースが出てきた。特に地域金融機関である信用金庫は、既存の事業のみでは顧客が衰退し地域に企業はなくなってしまうのではないかと、この危機感がある。そのため、地域の大学と連携してソリューションを提供する具体的な活動が展開されはじめている。

今回紹介する江戸っ子1号プロジェクトは、東京東部地域に位置するスカイシティのお蔭で、下町の中小企業が主役である。東大市で推進された「まいど1号プロジェクト」に刺激されたもので、西が宇宙なら東は深海を探査機というイメージで、海を目指し、深海探査機の開発と商用化を目的としている。「モノをつくる」だけではなく、「企業で取り組むにくい人材育成、そしてわが国ではあまり市場が広がらない海洋産業に注目した」という特徴がある。

本プロジェクトの契機は、信用金庫が開催している「技術相談」だ。複数の企業で若手社員が技術力向上のために講習会などを開催してきたが、モチベーションが持続しない。夢が持てるプロジェクトを企画し、その過程で人材育成を行い、この希望である。しかし実現するには、資金、メンバ、技術力の3点に課題がある。

相談を受けた大学側は、既存の努力により、海洋研究開発機構(海洋機構)の海洋工学センターに、当初は海洋機構が企業側に海洋についてレクチャーを行うという計画を立てた。本プロジェクトへの参加功の力となるだろう。

運営自体も教材となり、それが企業の発展につながる。また、中心となる企業は物理的に距離が離れているためあつんの呼吸でお互いを助け、といった下町の良さをフルに生かすことができた。IT技術は進歩しているが、対面の必要性と深い関係の醸成が重要である。しかし、今年9月の8000台実験前は、まるで大学の研究室のように士気も高まり、参加企業社員も無難なこと複数大学から参加している学生同士も、体となり、開拓の状況は一転して最高の教育の場となった。都心では大学数も多く、地域に強く特化していくというところがあるため、先進的な連携事例が多いとはいえない。今後は、都心部においても金融機関、大学が危機感を共有し、イノベーションが推進されることを期待している。危機感の共有はプロジェクトを通じて参加者、支援者を増やして体験してもらおうのが最良の方法である。

今年9月下旬に深海8000mでの実験を予定していたが、悪天候のため出航したものの実施できなかった。しかし、関係者の尽力により11月下旬に実施が決定した。日本の海洋産業の幕開けを中小企業が切り開くかもしれない。産官学連携プロジェクトの可能性に期待したい。

深海探査機「江戸っ子1号」

わが国の企業の99.7%を占める中小企業の活性化が日本の将来を左右する、と言っても過言ではない。しかし、中小企業は長年にわたる下請け体質、大企業に依存せざるを得ない状況などから、独自に技術開発、人材育成に取り組むことは難しい。その中で、大学の人的・知的資産を活用する産学連携が社会にも認知されるようになり、成功事例も散見されるようになってきた。今回は中小企業、大学、公的研究機関、金融機関が連携して取り組む産官学連携プロジェクトについて、その一例を紹介する。

産学連携学会 理事 川名 優孝

産官学金連携によるプロジェクトの推進

東洋大学産学協同教育センター

ものづくり中小企業の中核を担う人材育成講座を開催しています。

今年度中に開講予定の講座

ものづくりリーダーコース

●ビジネスシミュレーション

【開催日：1月25日(土)・26日(日)】

●経営革新技術

【開催日：2月15日(土)・22日(日)】

(会場は、いずれも東洋大学・川越キャンパスを予定しています。)

詳しい講座内容、受講料等については下記までお問い合わせください。



東洋大学

お問い合わせ：〒350-8585 埼玉県川越市鯨井2100 E-MAIL tpec@toyo.jp
TEL 049-239-1646/FAX 049-239-1937 http://www.toyo.ac.jp/site/pec/

バイオ、メディア、コンピュータサイエンス分野の産官学共同研究を推進します。

東京工科大学片柳研究所は産官学のコラボレーションを基本に、21世紀社会に貢献する多彩な研究活動を支援・推進する施設です。電界放出形透過電子顕微鏡をはじめ最新鋭の研究設備を有する研究所では、既にさまざまな民間企業や公的研究機関との共同プロジェクトが推進されています。今後は、さらに幅広い学外研究者との連携を実現し、自由でオープンな21世紀型の知的創造拠点をめざします。

片柳研究所	バイオ分野	バイオナノテクセンター
	メディア分野	コンテンツテクノロジーセンター
	クラウド分野	クラウドサービスセンター
	コンピュータ分野	コンピュータサイエンスリサーチセンター



東京工科大学

【八王子キャンパス】

■バイオ・情報メディア研究科

バイオニクス専攻 コンピュータサイエンス専攻 メディアサイエンス専攻 アントレプレナー専攻

■メディア学部 ■コンピュータサイエンス学部 ■応用生物学部

〒192-0982 東京都八王子市片倉町1404-1 TEL.042-637-2111(代)

【蒲田キャンパス】

■デザイン学部 ■医療保健学部

臨床検査学科 看護学科 臨床工学科 理学療法学科 作業療法学科

〒144-8535 東京都大田区西蒲田5-23-22 TEL.03-6424-2111(代)

【お問い合わせ】 ●研究協力課 TEL.042-637-1163(直) E-mail rsc@so.teu.ac.jp スマホ・PC http://www.teu.ac.jp/